



2019年度 鶴川地区 市政懇談会

次 第

[日時] 2019年11月5日(火) 19:00~21:00

[場所] 鶴川市民センター 第二会議室

司会進行： 市民協働推進担当部長 平林 隆彦

鶴川地区町内会・自治会連合会 副会長 仲村 清彦

○ 連合会長の挨拶

鶴川地区町内会・自治会連合会 会長 大川原 久 (5分)

○ 市長の挨拶

町田市市長 石阪 丈一 (5分)

○ 職員の紹介

(5分)

○ 市政懇談会について

(5分)

第1部 地域からの議題に関する意見交換

(55分)

- 1 鶴川駅南側整備及び北口拡幅計画の進捗状況について

【都市づくり部】

- 2 鶴川駅を中心とした交通渋滞解消方策の進展状況について

【道路部】

- 3 都市計画道路の整備促進の働きかけ

【道路部】

第2部 市政全般に関する意見交換

(40分)

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

(5分)

鶴川地区町内会・自治会連合会 副会長 斎藤 広志

2019年度 鶴川地区町内会・自治会連合会 市政懇談会
議事録(要旨)

[日 時] 2019年11月5日(火) 19:00～21:00

[場 所] 鶴川市民センター 第二会議室

[出席者] 石阪市長

政策経営部広報担当部長 若林

道路部長 福田

都市づくり部都市整備担当部長 萩野

市民部市民協働推進担当部長 平林

市民部鶴川市民センター長 坂上

市民部市民協働推進課長 中坪

市民部協働推進課(3名)

鶴川地区町内会・自治会連合会長ほか23名

司会進行：市民協働推進担当部長

鶴川地区町内会・自治会連合会副会長

○地区連合会長の挨拶

皆さん、こんばんは。何かとご多忙な中を、石阪市長を初め各部の幹部の方、市民協働の皆さん、鶴川地区の市政懇談会開催に当たりましてご出席いただきまして本当にありがとうございます。

鶴川地区もいろいろな課題がありまして、要望事項は大体いつも同じような要望、意見になっています。それだけ会員の皆様の要望は続いているわけなのですが、特に鶴川駅を中心とした、上麻生交差点から金井入口の交差点、相変わらず渋滞しています。土曜、日曜は本当に車が多い状況であります。また、最近、広袴中央という交差点から駅のほうに向かう鶴川街道が、ユニクロの前あたりからつながり動かない状態になっています。原因はちょっとわからないのですが、ユニクロに入る車が待っていたり、鶴川東口交差点の信号の関係だと思いますが、なかなか渋滞解消は進んでおりません。神奈川県に対する要望とか進捗状況、ぜひそういう忌憚のない回答をよろしく願いしたいと思います。

また、鶴川駅の北、南の工事の進捗状況なども、皆さんいろいろ期待するものがあると思うのですが、この要望に対しても幹部の皆さんのご回答をよろしく願いしたいと思います。

本日は、よろしく申し上げます。

○市長の挨拶（町田市長）

皆さん、こんばんは。市長の石阪でございます。お忙しい中、多くの方にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

この町の成り立ちは、新しい住宅地と古い住宅地とが混ざり合っている土地でありますので、いろいろな経歴を持っている人が一緒くたに集まっている、とてもいいことだなと思います。

この間、香山園で鶴川OMOTENASHI祭り2019というものをやりましたが、初めての人がたくさん来るといのは、鶴川地域もなかなかいい動きになっているのかなと思います。そういう意味では、鶴川の地区協議会そのものもかなり活発に動いていますので、町内会を軸にいろいろな団体が集まるという理想的な地域になってきたかなと思っています。

町の問題は、鶴川の場合は都市計画というか、道路というか、それが一番大きいのですが、そのほかにもまだまだいろいろな課題はあろうかと思えます。

そういう意味で、町田市全体の話も含めて鶴川地域を今後どうしていくかも2部のところでは少し報告することもあるかと思えますので、都市計画、もしくはまちづくり、道路以外の問題でも皆さんからご意見をいただければと思います。よろしく願いいたします。

○出席者の紹介

第1部 地域の要望に関する意見交換

1 鶴川駅南側整備及び北口拡幅計画の進捗状況について

- (1) 駅南側の整備計画
- (2) 駅北口のロータリー拡幅計画

【回答】

都市整備担当部長

「1 鶴川駅南側整備及び北口拡幅計画の進捗状況について」ご説明いたします。

(1) 駅南側の整備計画の進捗状況についてでございますが、2019年度は、土地地区画整理事業区域に関する都市計画変更や、隣接する西側区域の地区計画に関する都市計画決定のため、4月22日に、地元の皆様に対して、都市計画法第16条に基づく説明会を行い、8月16日の町田市都市計画審議会に諮り、8月30日に都市計画決定・変更の告示を行いました。

土地地区画整理事業につきましては、9月28日に「第8回土地地区画整理準備会」を開催し、事業計画の説明と、皆様からのご意見等を伺いました。

今後の予定といたしましては、2019年度末までに事業認可を取得し、2021年度から仮換地指定を順次行い、2022年度に土地区画整理事業の工事着手を目指してまいります。

また、川崎市域からのアクセス道路整備につきましては、8月18日に川崎市岡上地区の皆様に対して、事業説明会を開催いたしました。

引き続き地元住民の皆様や川崎市、神奈川県警と調整を図り事業の準備を進めるとともに、駅南口へのアクセス路入口である岡上駐在所前交差点の渋滞緩和のための早期改良についても、継続して川崎市に対して働きかけているところです。

(2) 駅北口のロータリー拡幅計画の進捗状況についてでございますが、2019年度は、8月に、面積約8200㎡と現在の2倍程度になる北口交通広場の都市計画変更を行いました。現在は、事業認可取得に向け東京都と協議を進めているところです。今年の12月からは、北口交通広場の整備に関連して、鶴川駅前公園の撤去工事を予定しております。今後は、2020年度に事業認可を取得し、2021年度に工事着手、2025年度の使用開始を目指してまいります。

南北自由通路と駅舎につきましては、今年の9月に小田急電鉄株式会社と基本設計に関する協定を締結いたしました。また、2018年度に行われた「鶴川駅アイデアコンテスト」でいただいたアイデアをより具体的にするため、地元の皆様、駅利用者の方々と「鶴川駅を考える会」（ワークショップ形式）を計7回行い、9月7日には「鶴川駅を考える会」の報告会を和光大学ポプリホール鶴川にて開催いたしました。今後は、「鶴川駅を考える会」でいただいたさまざまな提案を可能な範囲で設計に反映し、2022年度に工事着手し、2025年度の使用開始を目指してまいります。

続きまして、資料が幾つかついているかと思いますが、簡単に説明をさせていただきます。

資料の1ページ目、これは都市計画変更と決定の内容が簡単に書いてあります。1番目に「鶴川駅前土地区画整理事業について」と書いてありますが、これまで青の破線で囲まれた地域が全て区画整理事業の区域でありましたが、今回、斜線部分を区画整理事業から外しました。外したのは北側部分と、鉄道敷部分と南側の一部という形になります。

2番目は、地区計画と用途変更を行った内容を示していますが、北側の土地区画整理事業から削除した区域については、道路や壁面後退を都市計画の1つである地区計画で位置づけをしました。南側についても同様に道路や壁面後退を地区計画で位置づけております。

用途地域については、南側は一低層で建蔽率と容積率が40%、80%というものでしたのが、建蔽率50%と容積率100%に変えている部分がございます。建蔽率と容積率を変更している区域において、建蔽率が50を超えていることから準防火地域を自動的につけています。

最後、3番ですが、四角で囲っている町3・3・28号は新しくなる北口交通広場を都市計画決定したものです。

8・6・1号と書いてあるものが南北自由通路を、都市計画で位置づけた資料になります。

続きまして、2枚目の資料は、周辺の道路の概念図を描いています。今回、駅の南側に新たに交通広場を設置し、そこに至る南口アクセス路が、オレンジの点線で引っ張ってある線になります。岡上駐在所の交差点から来ますと、現在の人道橋がかかっている部分を12mの橋にかけかえて、南口の交通広場に入ってくる、このような概念で進めているところです。

次の3ページ目が、南口の区画整理、現在予定している道路の配置になります。南口交通広場に歩いて行くと、そこからエスカレーターでそのまま橋上駅舎にスムーズに入っていけるといえるものです。

道路は、川沿いにあるのが12mの道路、他は一部8mがありますが、大体6mの道路が配置されているという図です。

最後、4ページ目になりますが、北口交通広場の図になっています。これは現在の2倍ぐらいの広さになります。大体8300㎡で、バス、タクシー、一般車も入れる形になっています。最終的な詰めは、現在、警視庁と協議中です。交通規制等は一部かかってくると思いますが、使い勝手としては現状と大きく変わらないように調整をしているところです。

《質疑》

大蔵町町内会

私ども大蔵町、それから鶴川一丁目、二丁目、金井の方々は、皆さん、毎朝、鶴川駅に歩いて通っておられるので、そのアクセスがどのようになるのかを非常に心配しています。それで、この図面で、2番の図、ピンクで歩行者専用道路という形の矢印がついていますが、これはしっかり確保されるのでしょうか。

都市整備担当部長

現在ここは、小田急マルシェ内の通路になっておりますが、小田急電鉄と今年度、将来的にここの歩行者動線は残しますという覚書を結んでいます。マルシェが将来建てかえする際も、こちらの動線は残すということで覚書の中でやりとりをしていますので、2階レベルになるのか、1階のまま残るのかは別として、マルシェの前の通路は残すということで町田市も文書を交わしました。

上三輪町内会

2 ページ目の柿生町田線と点線で書いてある部分と、多分、岡上交番のところのオレンジ色の点線のところについて、具体的な内容、いつごろこれをするとか、説明していただけないでしょうか。

それともう1つは、三輪の右側のほうに点線で伸びていますが、この辺はどことつながるのでしょうか。

都市整備担当部長

柿生町田線の点線の部分ですが、これは川崎市域にある都市計画道路になります。我々も南口のアクセス路を検討するときに、当初、都市計画線が入っている関係で、川崎市に調整をかけたところですが、川崎市としては優先整備路線に入っていないということで、着手がいつになるかはわからないという状況です。

次に、オレンジ色の部分、南口へのアクセス路については、我々も事業を進めなければ南口に入っていく道がないので、現在、川崎市と町田市で役割分担を決め、区画整理と同時でやっていくことで進めています。既に岡上地区への説明会を行ったり、地権者の方々に個別に行っていますが、実際のところは2021年度くらいに事業説明会等をやって、2022年度くらいから用地取得を考えています。橋もかけ直すので、現在人道橋がかかっているところになります。そこに12mの道路をかけるため、そこについては少し先行しながら、早めに土地を取得して橋の工事を行うことで今、川崎市とも調整をしているところです。

上三輪町内会

岡上陸橋の補強などはいかがなのでしょうか。というのは、震災で、震度の関連で、全体的なところなのですが、いかがでしょうか。

都市整備担当部長

ここも都市計画道路になりますが、川崎市は道路整備プログラムというものをつくってしまして、向こう10年の優先整備路線を示しており、こちらは、残念ながら、優先整備路線として示されていないのでしばらくは手がつけられないのかなという状況です。

上三輪町内会

三輪は鶴見川で南北が分断されています。震災の場合は三輪小、水害の場合は三輪コミュニティセンターで、この間の19号では122名の方がそこに避難したと。その前の台風では3名。要は、言いたいのは、満杯になってしまっ

たとか、震災でいろいろ出るではないですか。震災のときに、北のほうから南に、震度6以上で橋はもつのですか。ちゃんと移動できるのですかというところもあるのです。

それと、防災でレッドゾーンやイエローゾーンといろいろあって、あの辺は危ないよと言っているのですが、具体的にいかがなものかと。実は、うちの裏もこの間のあれで崩れました。結構危険なところが三輪にたくさんあるので、市の土地もあります。具体的には、うちの裏も市の土地です。防災と交通を一緒にしてしまったのですが、その辺はいかがなものかなと思って、お聞きしたいのです。

都市整備担当部長

橋梁が果たして震度6以上でも大丈夫かという主旨だと思いますが、平成7年の阪神大震災の後に、道路橋示方書、橋の基準が改正されました。その後、町田市でも、橋梁の点検を行っています。これは全国の自治体が行っています。その橋梁が安全なのかどうか、震度7クラスを想定した中で点検をしています。その際に、震度7だと崩落してしまうような橋については落橋防止、橋が落ちないように工法で補強するなど、さまざまなことを町田市でも行っています。川崎においても、鉄道をまたいでいる跨線橋であり、相当ランクとしては上の橋になってくるので、直接聞いたわけではないのですが、その部分は少なくとも見ているだろうという想像はしているところです。私どもは直接の持ち主でないので何とも言えませんが、ただ、阪神・淡路大震災をきっかけに、橋梁については各自治体が点検をして、危ないものについては手を施しているのが大部分だと認識しているところです。

2 鶴川駅を中心とした交通渋滞解消方策の進展状況について

- (1) 鶴川東交差点から上麻生交差点に至る渋滞解消対策
- (2) 金井入口交差点の渋滞解消対策
- (3) 鎌倉街道の整備促進と交通渋滞解消対策
- (4) 岡上駐在所前交差点の渋滞解消対策

【回答】

道路部長

(1)「鶴川駅東口交差点から上麻生交差点に至る渋滞解消対策」についてお答えします。

まず、鶴川駅東口交差点から川崎市境までの区間については、「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」において2025年度までに優先的に事業に着手する路線に位置づけられておりますが、東京都によりますと工事時期については未定と伺っております。

次に川崎市側の進捗でございますが、上麻生交差点付近につきましては、2016年3月に川崎市が策定した「第2次川崎市道路整備プログラム」に基づき事業が進められており、2019年1月に事業認可を取得し、今年度は用地取得に着手したと伺っております。

(2)「鶴川街道金井入口交差点の渋滞解消対策」についてでございますが、金井入口交差点より大蔵方面は都市計画道路として未整備区間があり、この区間を整備すれば、現在より混雑が緩和されることが期待されます。

この区間は、第四次事業化計画において優先的に整備すべき路線に位置づけられております。

金井入口交差点の改良を含めた都市計画道路の早期着手について4月15日に、副市長の木島が東京都南多摩東部建設事務所に伺い、所長に強く要請してまいりました。

(3)「鎌倉街道の整備促進と交通渋滞解消対策」についてでございますが、東京都によりますと、今井谷戸交差点から新袋橋交差点までの区間については、現在用地取得を進めていると伺っております。引き続き整備促進の要請を行ってまいります。

(4)「岡上駐在所前交差点の渋滞解消対策」についてでございますが、これまでも渋滞緩和のため、岡上駐在所前交差点の早期改良を、川崎市に対し働きかけてまいりました。

10月2日に開催した川崎・町田道路連絡調整会議で、引き続き早期改良に向け働きかけを行いました。

《質疑》

三輪緑山自治会

岡上駐在所のところの交通渋滞解消についてお話がありました。10月2日に川崎市と調整会議をやられたということですが、その感触、それから、今後どういうところを攻めていけば早期に実現するのか、そこら辺のポイント等がありましたらお話しいただきたいと思います。

都市整備担当部長

先ほど申し上げたように、岡上の駐在所の前の交差点については区画整理をやる際のアクセス路の一番要となってくる入り口になりますので、我々としては、遅くとも区画整理と同時期施工を目指して、今、川崎市と調整をして、合意に向けて話を進めているところです。ちょっと時期がまだ何年からというところではないのですが、役割の中で、我々がやる場所、川崎市がやる場所と同じ時期にやっていくくらいの感じで進めているところです。

三輪緑山自治会

ありがとうございました。ところが、今の計画はたしか15年計画で始まっていて、道路の完成が2032年ごろの予定だと思うのです。2032年ごろにバスが岡上駐在所のところを曲がって南口に入るといのは随分先になるので、住民の多くの方がそれを目にすることはしないのではないかと。ぜひとも計画を前倒しして早期にさせていただきたいというのが切なる要望でございます。

都市整備担当部長

川崎市に対しても、なるべく早くということで、そのところは区画整理以前の話からご要望いただいているところでありますので、町田市としても早期着手というのは引き続き働きかけていきます。

3 都市計画道路の整備促進の働きかけ

- (1) 真光寺から黒川に抜ける都市計画道路の整備促進の働きかけ
- (2) 広袴から栗木への都市計画道路の整備促進の働きかけ

【回答】

道路部長

(1)「真光寺から黒川に抜ける都市計画道路の整備促進の働きかけ」についてお答えいたします。

真光寺十字路から黒川に抜ける鶴川街道のうち、川崎市境から約30m区間の町田都市計画道路3・4・23号線については、第四次事業化計画において優先的に整備すべき路線に位置づけられておりますが、東京都によりますと工事時期については未定と伺っております。

また、川崎市側については、第2次川崎市道路整備プログラムにおいて整備推進路線として位置づけられ、2025年度までに事業に着手する路線となっております。

(2)「広袴から栗木への都市計画道路の整備促進の働きかけ」についてでございますが、広袴3、4丁目付近の町田都市計画道路3・4・30号線は、鶴川第二土地区画整理事業で2003年5月に整備が完了しました。

また、川崎市側の川崎都市計画道路3・4・23号線は、第2次川崎市道路整備プログラムには、位置づけされておりません。

いずれの路線についても、東京都と川崎市に対して、引き続き整備促進を要請してまいります。

《質疑》

鶴川四丁目富士見会

2番に戻りますけれども、川崎市も東京都もかかわっていない部分という

と鶴川駅前の芝溝街道なのですが、これは未整備区間も含めまして、鶴川駅東交差点の渋滞緩和に向けて、どこをどのように広げるなり、つなげるなり、掘るなりすれば渋滞解消につながるとか、もう少し現時点での具体案を聞かせていただきたいと思えます。

道路部長

この芝溝街道ですが、先ほども言いましたが、ネックになっているのは、1つは、上麻生の交差点です。こちらから鶴川駅東口までがまだ整備されていません。拡幅されていないということです。これによりまして、要は片側1車線しかありませんので、右折車両で詰まってしまうというのが現実にあると思えます。まず1つ目は、この上麻生の交差点が広がって、例えば、鶴川から川崎に向かって右折レーンがしっかりできれば、かなりそちらのほうは渋滞が解消するのではないかと。あとは、当然、町田市の中の芝溝街道の拡幅ができることも重要だと思っています。あと、藤の木の交差点もありますので、交差点における道路が拡幅されて、例えば右折レーンなどが確保できるようになれば、かなりその辺は渋滞解消になると思えます。ですから、やはりネックなのは道路を拡幅しなければいけないこと、これが最優先だと思っています。

それと、同じようなことで大蔵の金井入口交差点も、この先ができていない関係で詰まってしまう。以前にもお話ししたと思うのですが、あそこの交差点は形がいびつになっていることも渋滞の原因になっていると思えます。ですから、金井の交差点から先の部分の道路線形がしっかりできて広がることによって、この区間全体の渋滞解消につながると考えております。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

道路のところはなかなか難しい問題でありまして、芝溝街道が、実は新袋橋から先ほどの上麻生交差点まで慢性的に混んでいます。朝、雨が降っている月曜日は、鶴川市民センターの下から駅までつながってしまうのです。逆方向も金井入口で、鶴川駅東口交差点の向こうまでつながります。どうするかというと、鶴川駅東口交差点を右折してしまっ、団地の中を抜けてきて、ここの横を西へ行くという車が、団地の中を抜けてきて、左折しておりていく車が左折できないで坂の途中で待っているという構造です。

つまり、2本線があって、両方とも詰まってしまうというのが雨の日の朝です。いろいろ皆さん、あっちへ抜けよう、こっちへ抜けようとして、そのまま真っすぐ突っ込んでいくと天理教さんの交差点があるのですが、あそこを先頭にまた下までつながってしまう。新袋橋からこちら側の道路は非常に

混んでいまして、今、部長も話していましたが、ボトルネックのところを解消する。ところが、道路は路線をきっちり広げたいという意識があるのです。私は交差点だけ直してくれと言っているのですが、東京都の南多摩東部建設事務所も道路を全部やりたいと言っています。

なかなか意見が合わないのですが、一番典型的なのは金井の交差点です。金井の交差点は、市民センターに向かって、セブン-イレブンが交差点の少し市民センター寄りにあります。セブン-イレブンのところは下がっているのです。交差点の間に1棟マンションが建ってしまって、このマンションをどけないと交差点の改良ができません。これは結構大ごとなのですが、あそこの改良はそれしかない。あそこのマンションがどいてくれるとどうなるかというと、セブン-イレブンのところも引っ込んでいますから、セブン-イレブンのところから鶴川駅に向かってずっと2車線とれるのです。交差点のところは3車線とれます。左2本で、右に曲がるレーンがつくれます。今真っすぐ行っているところを右折レーンにしてしまう。そのもっと左側を直進レーンにして。

そうすると、鶴川駅から来た車は魚屋路というお店のところからずっと左折レーンがとれるのです。左折レーンをとって、北側に真っすぐ行く路線をとる。今、真っすぐ行く路線をとろうとすると右折レーンとバッティングしてしまうのです。警視庁は、真っすぐ行ったら右折レーンにぶつかる道路なんてないだろうと。そうですよね、真っすぐ行ったら、向こうで待っている車にぶつかってしまいます。そういうことはできないので、先ほど言った、あのマンションに引っ込んでもらって、真っすぐ行く車と左折レーンを分けることができれば、常に左折可という信号があります。直進が赤でも矢印で左に行けるといものがありますよね。その青矢印が出せれば、駅から来た車はいつでも左に曲がれてしまう。あるいは金井から来た車は右折がどんどんできる、左折もできる。その間に、鶴川駅から来た車も左折ができる状態で、かなりあそこはあきます。ですから、鍵を握っているのはマンションのところなのですが、交差点改良事業の認可はとれていません。したがって、事業認可がとれないところは用地買収もできないし交渉もできないので、私としては、何とかそこの交差点の改良をしてもらいたいと思っています。

川崎の上麻生交差点については、こちらから行って右側に自動車の整備工場があります。あの整備工場の車1台分だけ寄せていただくと、あそこは右折レーンがとれます。右折レーンがとれば、当然ですが、真っすぐ柿生に向かって抜けていきます。ご存じかもしれませんが、新百合に行くまでの間で引っかかるのは、あそこと柿生の駅前だけです。それを過ぎてしまえば、その先の川崎インターに行く道は右折レーンがとれていますから引っかからないのです。ずっと新百合まで行けますから、上麻生交差点の自動車屋さんところが車1台分こちらへ寄ってくれれば解決するのですが、それは川崎

市の話なので、私がここで何を言っても解決しないのですが、その交差点改良をしていただくことと、先ほどの金井の交差点の改良ができれば、かなりの部分、芝溝街道は抜けるようになると思います。何とか関係方面に働きかけて、この2つの交差点を頑張ってやらなければいけないと思います。

もう1つ、先ほど説明がなかったのですが、鶴川駅北口のバスののみ込み、区画整理の図面、4ページになるのですが、全体に駅前広場が広がります。マルエツさんのところから、今、この絵は出るだけになっていますが、これは未定です。入ってこられると思います。少なくともバスは現在と同じように入っていくのですが、今は右に曲がっていますが、今度は左に曲がれるようになります。要するに、とまる場所から芝溝街道までの長さが非常に長くなりますから、バスが入れないでとまることがないのです。ですから、のみ込んでいただけるので、鶴川駅東口交差点で動かない原因の1つは、鶴川駅北口の駅前広場に入れないとか、のみ込めないということでしょうが街道に出てしまうという要素があるので、そこののみ込みが非常によくなりますので、この北口の交通広場の改善は、芝溝街道本線の流れを大分よくする効果を狙っているということです。

したがって、それが流れてくると、現在若干ネックになっている鶴川駅東口交差点の改善も進む。結局最後は、上麻生の交差点と金井入口の交差点がどうしても残ってしまうというのが今の実情かと思います。

というわけで、今のは解説みたいなもので、次に幾つかのご報告をさせていただきます。

一番直近で言うと、南町田のグランベリーパークですが、11月13日、オープンになります。ここについては、マンションも含めて約600億円を東急が投資しています。町田市は整備ベースで約80億円投資しています。東急より大分少ないのですが、国土交通省を含め約20億円補助金をいただいています。230店舗ぐらいがオープンします。いわゆるアウトレットモールですので全国からお客さんが来る。少なくとも横浜を含めた神奈川県内と東京、八王子、その辺からお客さんが来ますので、それぐらい商圈を持っています。木更津の三井アウトレットモールとか御殿場のアウトレットモールぐらいの規模になるので、かなりの集客施設になっています。とりあえず年内は車で行かないほうがいいと思います。道路につかまってしまっていて動かない。年が明けてから、交通渋滞の状況を見て車を出していただいて、それまでは、駅の真ん前ですから電車で行っていただきたいと思います。

1カ月後の12月14日にスヌーピーミュージアムがオープンします。これはアメリカの西海岸に本部があって、そこ以外では、世界では町田だけです。ですから、台湾とか東南アジアに住んでいて、アメリカまで行くのが大変だという人は結構日本に来るだろうと思います。

学校の話で言うと、来年の4月以降は、あそこへ小学生を連れて行って、

英語で行動する、スノーピーミュージアムの中に入ったら日本語は通じないという状態にして授業をしようとなっています。教育委員会がそのつもりで、英語を体験させようと。周りはどこを見ても英語しか話してくれない状況の中で小学生がどうするかというのを、そういうのが実際の生きた英語になるので、そういう教育をしようとして計画をしています。もちろん、ウイークデーというか、普通の日ですからミュージアム側も協力しようというふうになっています。

それはそれとして、公園のところをまず言いますと、野津田公園は、この10月から1万席の座席を5000席ふやす工事をやっています。今、バックスタンド側は工事エリアになっていてお客さんが入れなくて、ゴール裏からちょっと入ったところまでにお客さんがいて、後ろ側は増設工事をしています。再来年2月に完成する予定で、そのときは1万5000人になります。ちなみに、ゼルビアは9月27日にJ1のライセンスを取得しました。ただ、一昨日現在の成績が19位で、結構ピンチですので頑張ってもらいたいなど、そう思っています。

それから、都心部の公園で芹ヶ谷公園があるのですが、この4月に全面的に都営住宅跡地の工事が終わりましたのでオープンをいたします。ただし、下のほうはこれから設計作業をします。上だけ4月からオープンになります。

それから、薬師池公園の西園、道の駅、正確には、国土交通省の定義には合いませんが、いわゆる道の駅が4月にオープンします。農協とは、何を作付して、何を売るかという話はもう済んでいますので、多分参加する農家の方は売るものの苗の仕込みをもう既に始めていまして、4月に売り出せるようにしています。ただし、町田市産のものだけでは、とても棚が埋まりませんので、あるいは時期的なものもありますので、八王子のものもそうですが、ほかのところから持ってきたものも入れて、商品を切らさないことはやると思います。

2020年12月以降にそこにバス停ができて、2両編成のバスがとまれるようになります。恐らく薬師池公園の蓮の池のほうにも夏にはバスが通るようになります。しかし、道路の反対側にはなかなかとまるところがなくて、つまり、ものみの塔側のバス停は長いものがとまれる工事はなかなか進んでいません。

先ほど説明がなかったのですが、鎌倉街道は事業認可をとって進めているのですが、今井谷戸から石坂石油のところまでは事業認可がとれています。用地買収が入っているわけですが、なかなか進んでいません。皆さんご存じのとおり、鎌倉街道は、横浜から東京、府中方面へ南北を結ぶ一番大きな道なのですが、なかなか進んでいません。菅原神社の前のところまでは来ているのですが、そこから今井谷戸まで来るところもまだ全部は終わっていません。もうあれは20年ぐらやっています。ということは、さらに10年以上は

かかるのではないかと思います。あそこのガソリンスタンドから今井谷戸までを4車線に広げる工事です。

考えていただくとわかるのですが、こちらから町田に向かって行って左側はすごい崖です。あちらへ広げるので結構大変です。相当面倒な工事に、つまり木を1本切るにも道路側からは切れないので、裏側に工事用道路を、用地を借りて、そこから木の伐採が始まるので、こちらから行って右側（薬師池側）はすごい崖で公園に落ちていますので、あちらに広げられないのです。なので、少し難工事になるかなという感じがします。

それから、清掃工場の話をしてします。工場本体の工事は順調に進んでいまして、2年後の12月には完成します。新しい工場は、今の工場の南側の隣に建設しています。それから、清掃工場の向かいのプール施設設備や屋根の改修が11月中には終わります。今後は、プールの第一駐車場部分を温浴施設として工事を行い、清掃工場完成と同じ2年後に温浴施設ができる予定です。

それと、もう少し上の、今のビンやカンの処理をしている裏側に市の最終処分場がありまして、その処分場の1つである池の辺地区については2022年にスポーツ公園として整備する予定です。したがって、清掃工場の周りは、スポーツ公園ができて、温浴施設ができてということで、幾つか皆さんが楽しめる場所ができることになっています。

今とまっているのがビン、カンのプラスチック等を処理する資源ごみ処理施設の建設です。なぜとまっているかというのは、用地取得等、整備に必要な調整や手続きに時間を要しているためです。1つは、相原の大戸という場所なのですが、神社や市立小中一貫ゆくのき学園（大戸小学校、武蔵岡中学校）の周辺の用地取得に向けて調整を進めているのですが、2025年ぐらいまでかかるだろうと言われていています。今までは新しい、工場が稼働する2年後には資源ごみ処理施設もできていて、現在の清掃工場の西側にあるビン、カン処理施設を閉鎖するし、プラスチックの中間処理等の施設と一緒にできることになっていたのですが、2年後に清掃工場ができ上がっても、資源ごみ処理施設が出来るまではプラスチックの分別収集は始まらないことになりそうです。

清掃工場をつくるにあたって、地元の皆さん、特に下小山田、図師などの忠生地域の町内会の方々は苦渋の決断をし、ビン、カンの今やっている処理施設はほかに行くということを約束しています。ですから、ビン、カン処理施設の閉鎖はどうなっているのだと、結構追及をされている状況でありまして、何とかそこはやらなければならないと思っています。工場の関係については、今そのような状態です。

それから、小中学校、幼稚園、子どもの話です。まず児童ですが、待機児童から言いますと、今年の4月で127人の待機児童がいました。ほとんどは0、1、2歳です。3歳以上の子はほとんどいません。今問題になっているのは

0、1、2歳です。今の計画では、2021年4月に待機児童解消するということを言っています。でも、なかなか本当にできるかどうかはわかりません。今の127人に対して150人くらいの人数の受け入れの計画を進めていますので、何とかあと1年半後の2021年4月には待機児童を解消にしたいと思って進めています。今一番大変なのは、南地域、それから町田と鶴川、この3地区以外はほとんど待機児童の問題はありません。

この10月から幼児教育の無償化ということで、一定所得以下の人は0、1、2歳を含めて無償になりました。3歳からは所得関係なく無償になりました。新しい制度になったのですが、実はベビーシッターさんとか、いわゆる無認可の施設も無償になりました。その質をどうやってきちんと確保するかは大きな課題になると思います。

もう1つは、そういうところでも無償で入れるとなると、やはり申し込みをする人がふえて、待機児童がまたふえるのではないかなど。11月で、来月にならないとまだ数字はわかりませんが、来月になるとどれぐらいの新しい申込者が来るかということがわかりますので、そうなる、先ほど言いました2021年に解消になりますよという話が、もしかしたら無償化のおかげでまた申込者がふえるという心配もしています。

それから、中学校の給食の問題ですが、今、お弁当をつかって配達するというやり方をしているのですが、今年の春で言うと10%ぐらいしか頼む人がいないという事情がありました。これを引き上げようということで、今、お試し期間というか、1週間無料で中学生全員にお弁当を食べていただくというのを9月からやっています。そこそこ食べていただいている状況なのですが、実際どこまで無償ではなくて頼んでいただけるかはわかりませんが、目標としては10%の3倍の3割にしようということで取り組んでいます。中学校の給食についてはまだまだ改善しなければいけないことがたくさんあります。そういう意味で、改善をしていって、もっと食べていただくという計画をしています。

それから、高齢者の話ですが、特別養護老人ホームについては、社会福祉法人の皆さんにご尽力をいただき、市内に多くの特別養護老人ホームを整備していただきました。もちろん市としても補助金を交付することで整備を進めてきた結果、大分状況が改善されてきました。町田市内に多くの特別養護老人ホームができたので、申し込みしてから入所するまでの期間がとて短くなりました。特別養護老人ホームに入所するために昔は2年、3年待つのは当たり前と言われていましたが、今は1年待ちません。10年前ですと、申し込みから1年以内に入所した方の割合が45%でしたが、昨年度は90%で、ほとんどの方は申し込みから半年、1年で入所できる状態にまで改善されています。

特別養護老人ホームについては、入居保証金はありません。大体1ヶ月個

室で16万円ぐらいです。年金だけでは入所が難しいですが、ちょっとした貯蓄があれば毎月の支払いができる状況です。実は町田市のように1年以内に市内の特別養護老人ホームに入所できる市はあまりなくて、八王子市、青梅市、あきる野市などは別ですが、立川市より東側の地域は、町田市のように申し込んで1年以内に入所できる方の割合が9割という市はありません。23区ではもっと大変な状況になっていて、待っていてもお住まいの地域の特別養護老人ホームに入所できないので、群馬県や栃木県まで行かないと入所できない状況があると聞いています。そういう意味では、東京における介護の事情というのは非常に厳しい状況になっています。

私もそうですが、団塊の世代が75歳以上になる2025年を過ぎると、もっと東京都内は厳しい状況になるので、多分、介護分野はかなり行き詰まってしまうかと思います。東京に住み続けることが難しい状態になるのかと思っていますが、解決策はあるかという点、特別養護老人ホームに関してはまず無理だと思います。地価が非常に高い、坪300万円とか1000万円の土地に特別養護老人ホームを整備することはあり得ません。土地を借りるにしても買うにしても事業として成り立ちませんので、東京の23区内はなかなか難しいかなと思います。

最後にオリンピックの話ですが、昨日からパラバドミントンのインドネシアチームがサン町田旭体育館で練習をしています。今日は町田第四小学校の子ども達が見学に来て、選手と交流しました。来週から代々木で国際大会があるので、そのためのキャンプを旭町でやるのですが、来年のパラリンピックでも、やはり旭町でインドネシアのパラバドミントンチームがキャンプを張ることになっています。

あと、オリンピックのほうは、来年は中国と南アフリカとインドネシアの3カ国が町田でキャンプを張ることになりました。来年のキャンプは、あちこちに声をかけたら結局3カ所にもなってしまって、体育館の割り振りだとか、グラウンドの割り振りだとか、結構大変なことになっていますが、日本では3カ国がキャンプをやる市は7つしかありません。うちがその1つに入ったのですが、7つのうちでラグビーのキャンプをやったのはうちだけでした。ただし、各チームと交流をしていただいています。小学生や中学生から非常に喜ばれていますので、これはたくさんキャンプを受け入れたのもいいかなと思っています。国によって全然やってくれない国もあるので、インドネシアや南アフリカが小中学生との交流をやってくれるので、よかったかなと思っています。

ちょっと長くなりましたが、報告を終わります。

《質疑》

金井町内会

災害の件ですが、今、風水害の被害が町田でも結構出ているということをお聞きしています。町田の河川は大丈夫でしょうか。

それと、もし災害ごみがたくさん出た場合、いろいろなところで災害ごみの問題が出ているかと思いますが、その件についてお考えはありますか。

町田市長

河川については、この前の台風19号のときは、幸延寺橋のところであと40センチぐらいのところを持ちこたえまして、溢水氾濫はありませんでした。11年前に境川の上流域で少し水が出ましたが、それ以降、あふれていることはありません。2年前の22号のときもあふれませんが、今回もあふれませんが、非常に危ない状況にあります。鶴見川の方はあまり感じていないかもしれませんが、境川のほうは護岸のぎりぎりまで来るので、いつも心配をしています。

この原因はごくごく簡単でありまして、鶴瀬橋という、大和市境から南のほうは、まだ1時間降雨30mm対応なのです。そこから上は50mm対応が済んでいます。川は上流から下流に流れるのですが、上流で50mm対応をしても下流が30mmだと上流があふれてしまいます。実際どうなっているかというところ、50mm対応のところを砂利を積んで30mmしか流れないようになっています。上で50mmを流してしまうと下へ行ってあふれてしまうので、50mmに掘削した後、無理やりに砂利を積んであります。50mmが済んでいるところは東京都の施工、鶴瀬橋から下は神奈川県での施工。

神奈川県は、金がないものは仕方ないだろうで終わりです。私が聞いたのだけれども、ない袖は振れないとはっきり言っていました。では、どうするのだと。それは、時間をかけてやらせていただければというわけで、本当に神奈川県は進んでいません。あと何年かかるか年限を言わないのです。つまり、まだ見通しが立たないらしいのですが、とにかく下の50mmをやっていただかないといけない。実は東京都は65mm対応というものも打ち出したのです。23区のほうは75mmで3多摩地区は65mm対応なのですが、神奈川県は50mmがまだできないということで、上流のほうもまだ30mm対応ができていないのです。神奈川県が管理しているのは一番上流と、先ほど言った鶴瀬橋の下です。ちょっとこれはすぐには解決しないということです。

それから、災害ごみは、先週から環境資源部の職員と各部の職員が長野市に支援に行っています。向こうに寝泊まりをしてやっています、16日いっぱいまでは長野に行って、職員が1週間交代で災害ごみの処理に当たっています。長野市ではあと2年ぐらい来てくれみたいなことを、2年ぐらいしないと片づかないと。こちらは職員をそんなに出せないよと言っているのですが、実は長野市と町田市は災害時相互援助協定を結んでいるので、協定を結

んだ限りは行かないといけないのです。

とにかく長野市は、災害ごみの処理に2年かかるとなっています。私どものほうも、災害廃棄物処理計画を策定しましたが、実際に、特に地震の場合の災害ごみの処理が本当に計画どおりいくかどうかは、わかりません。3多摩地域では日の出町に大きな処分場があるので、地震の際に道路が復旧すれば一部はあそこへ持ち込むことはできるでしょうが、道路もそう簡単ではないので、地震で災害ごみができただけの場合はどのようにするか、計画はあるのですが、なかなかそのとおりにいくかどうかはわかりません。

三輪緑山自治会

台風19号のときに三輪コミュニティセンターに122人が集まってという話がありました。入り切らなくて、鶴見川クリーンセンターに50人ほど移ってもらったらしいです。実は今年9月に三輪地区の6町内会・自治会で合同の防災訓練をやりまして、避難施設は三輪小学校なので、そこに行きました。この体育館は、3.3㎡に2人入るという勘定でやりますと定員が四百数十人です。それは多分、演台の部分も含めて面積を割ったのではないかと思うのですが、実際に区分けして人を入れてみると100人から150人ぐらいしか入れないです。言っている数字と、実際入ってみたら随分格差が大きいのです。通路をとったりするので、人が横になるとすれば、実効的には40%から50%しか使えません。

そういうことを含めると、今、町田市で3.11の後に震災の被害想定が3倍になりましたね。3万人の避難者が9万人になるということで、今の計画で71施設ぐらいできるということですが、地道な話ではあるのですが、そういうところを1つずつ見直していかないと、それぞれの避難所で人が入り切れないという問題につながってくると思いますので、そういうことも、ひとつ見直しもよろしくお願ひしたいと思います。

町田市長

今お話がありました避難所の収容の問題は、今の現実的な話としては体育館では足りないとなっていて、教室を使うことにしないと今の計画はできないというふうに考え方を少しずつ変えています。今おっしゃったように、3.3㎡に2人、畳2枚に2人だと、通路もその分に入るのかとか、物を置くところもその分に入るのかと。3.3の場合は、こなせなくなってしまうのです。それが1つ。

もう1つは、去年、この3月までに9万人の避難をする人の計算式を全施設についてやり直しました。71施設について何人来るだろうと計算をしました。一番少ないのは木曾境川小学校の避難者で80人、一番多いのは町田第五小学校、具体的には玉川学園で3700人。小学校には200~300しか入らないの

で、玉川学園にお願いしたのですが、あそこは小さい子も含めて子どもがいます。そこへ避難者が入ってこられるのは非常に苦しいということでだめだったのです。もう1つは、薬科大学にも交渉しているのですが、あそこもいろいろな薬品があって、なかなか難しいのです。では仕方がないからと、三井グラウンド、合宿所があるので、そこも頼んだのですが、人がいないときもあるので、そのときに受け入れることができないのでと、大きなところは3つとも断られました。

桜美林もそうなのですが、学生や子どもたちがいるところに受け入れるのは、はっきり言って私立大学は預かっている生徒さんの安全第一なので、その対応だけで目いっぱいだと。確かにそうかもしれないと思って。学園の場合は本当に行き場がないのです。どうするか。10カ所の小中学校は、基準が仮に最大で700としても、それをオーバーしています。具体的に来年、再来年から備蓄の毛布、水、食料の配置換えをします。先ほどの木曾境川に700人分置いて、来る人は80人。つまり、倒れる建物がどれくらいその学区域の中にあるかという計算をします。木曾の場合は、木曾境川団地は倒れないです。ですから、3.3㎡に来るよりうちで寝ていたほうがよほどいいわけで、来ないと思います。一戸建てで古いところ、玉川学園みたいな崖地のところは結構難しいです。建物がゆがんで出入りができなくなるとか、倒れないにしてもいろいろなことが起こるので3700人という数字が出てしまうのです。全部について計算しましたので、今、食料その他の備蓄品の再配備計画を立てています。それで今から移動してしまおうという考え方で始めています。

鶴川四丁目富士見会

学校の教室とおっしゃいましたが、教室も考えているのですか。

町田市長

来年度と再来年度を使って体育館の空調を入れることになりました。学校のほうも既に普通教室や特別教室にエアコンが入っていますので、体育館も教室もエアコンが使えます。電源が落ちた場合の対策では非常用発電機を設置して照明やコンセントを使用できるようにします。教室全部は難しいかもしれませんが、真夏でも何とか過ごせるように配慮することで、非常用電源も含めて、避難施設として使える。体育館の場合は子どもたちの熱中症予防メインでやるのですが、万一避難してきたときにエアコンがないと困るので、そういう計画をしていて、来年度と再来年度に全校、体育館にエアコンを入れることになっています。

上三輪町内会

まちピカについてのお話です。去年の市政懇談会的时候は、まちピカは使

い勝手がかなり悪かった。せんだって、私のスマホはアンドロイドなのですが、勝手にOSがアップして、アンドロイド9だけ地図が出てこないという不具合が出たのですが、それを通報しましたら1週間以内で是正してくれました。町田市は大したものだというのが褒め言葉です。

2つ目ですが、通報するではないですか。そうすると、Gメールのアドレスが添付されると思うのですが、実行したらアンサーバックしてくれるとうれしいです。というのは、受け取ったよというアンサーは、昔は、市のサーバーではなくて勝手に自分でやっていて、今はサーバーから返ってきて、届いているだろうというのが、昔だと届いているかどうかわからなかったので、よくなった。ただ、それを実施したかどうかというのをやっていただくとう助かるのです。

なぜかという、上三輪の場合、年齢が上がってきて、これをやってくれとか、何でもかんでも言うてくるのです。そうすると、出すと、例えば、今日も督促したのは、2カ月かかってもまだやっていないところがあるのです。3日でできるものもあるし、その都度行っていたら体がもたないということで、ぜひその辺を改良してくれると、まちピカはすばらしいということになるのですが、いかがなものでしょうか。

道路部長

ありがとうございます。我々も一生懸命まちピカは改良を加えています。確かに昨年については、送ったけれども、送れたかどうかわからないよという話があったので、それをすぐにカスタマイズして、とりあえず届きましたよということは皆さんに送るような形のものをつくりました。原則的なものとしては、受けたもので、それをうちのほうでやれるものについては、今、回答はしていません。そうでなくて、逆にできないもの、私道だからできないとか、うちのほうで対応ができないものについては現在回答しているような形です。ですので、基本的に回答がなければやるのですが、ただ、時間がかかってしまっているわけです。やはりそういうのもあるので、もしやるまでに時間がかかるものであれば、それは返すことができないかということで、まちピカを担当している者がいるので、その者に伝えたいと思います。基本は、返ってこないものはやるのが原則です。全くできないものについてだけ、これは町田市でできませんというものは返していますが、時間がかかるもの等については考えたいと思います。

鶴川2丁目自治会

今日、訓練で緊急の防災無線が入って、緊急の音は聞こえるのだけれども、「これは訓練です」という言葉が聞き取れない。それで、「防災町田でした」というのは聞こえるけれども、肝心の中身が聞き取れない。何のための防災

無線なのだろうなど。「町田の防災無線です」というのはよく聞こえるので、何であれと同じ音量で中身が聞き取れないのか不思議でしょうがないのです。聞きなれているから聞こえるのか、中身はあまり聞きなれない言葉を放送されているから聞こえないのかというのがあるのですが、もっときちんと話のできる人に担当をやっていただきたいというのが希望です。そうでないと、せっかく使っていても中身が聞き取れないのでは意味がないのではないかと思います。鳴らせばいいというものではないと思います。

町田市長

今日、テストの防災無線の放送をやりましたが、防災無線の放送が聞こえないときは、このピンクのチラシの一番下にある0800-800-5181というところにかけていただくと聞こえます。電話代はかかりません。後ろの一番下、フリーダイヤルにかけていただくと、話している中身が電話で聞こえます。今日の午前10時ですね。今日は、テストでJアラートの放送でした。あとは、テストで、「大地震です。大地震です」と3回やりました。「これで訓練放送を終わります」と。結局、聞こえないときはこれにかけてみてください。これは電話に記憶させるか、電話機に張りつけるかをしていただければと思います。

実は、大雨のときに放送をしていますが、大雨のときは窓をあけている人がいないので、大雨の音と、窓が閉まっていて聞こえません。でも、ああいふときしか放送しないので、聞こえるときがないのです。一番大事なのは、何か言っているなということは何となく聞こえるので、そうしたら電話をしてもらえないかなと思います。大雨のときは、聞き取るのは大変かもしれません。

○閉会の挨拶（鶴川地区町内会・自治会連合会副会長）

市長を初めとして幹部の皆さん、また、市民協働推進課の方々にご出席いただきまして、大変ありがとうございます。忌憚のない意見交換ができたのではないかと考えています。また、各町内会の会長さん、今日のご参集いただきまして、大変ありがとうございました。

以上をもちまして閉会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。（拍手）

以上